

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区に限り避難指示が解除されました。大川原地区には新しく役場庁舎や公営住宅などができ、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町大川原LIFE編集部 問合せ先：mirai@town.okuma.fukushima.jp

はばたけ新大熊町開幕

この看板をついた子どもすでに成人!!



新専師匠の立派な畑も。

除染や建物解体が進む中から、日々景色が変わっています…。



こちらも登録有形文化財



右吉さんのお墓も見える!

登録有形文化財や大山祇神社を横目に…



大熊町役場

こんにちは!
大川原と、生活に必要な近隣の拠点を結ぶ町の生活循環バス。普段は自家用車移動が主なのですが、バス停「下平」が追加されたり、電気バスが導入されたり、気になっていました。

今回乗ってみて、大川原⇄富岡駅は買い物等に必要とされているのを実感(土曜日、日中の便は私含め乗客6人。全員がさくらモールで下車)。大川原⇄大野駅は、町を知るのにとってもいい路線だと思いました。本来の目的ではないかもしれませんが、視察や観光での利用もありなのでは? 電気バスなら、エネルギーや環境について考えるきっかけにもなります。ライフで紹介した場所も見れますよー。バスはたれでも無料で利用できます。ぜひ、乗ってみてください。

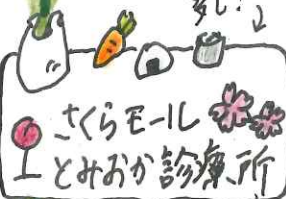


大野駅

電車でつながります。

富岡駅

買い物で下車する人多し!



さくらモール
とみおが診療所

住人の個性がにじみ出る住宅



大川原復興住宅

富岡中央
病院

富岡
郵便局



生活循環バスで町をめぐる。

バスは2台あり、うち1台が100%電気を動力としたバスです。役場敷地内に電源があり、4時間の充電で約140km走ります。災害やイベントの時に電源としても使えます。通勤にバスを使っている役場職員は「エンジン音が違うから、乗っていて未来感があります」電気バスが点検などの時は、ガソリン車が走っています。ご了承ください。

大川原に夏がきました

ひまわり畑の整備を通して農地保全

今年も「ひまわりプロジェクト」により、
県道35号線沿いの農地に植えら
れたひまわりが満開になりました！

今年には梅明けも早く、
太陽の光を一杯浴びて
一段と色鮮やかに感じまし
た！台 見ていますからね♪



佐藤